

8427

XP-002214919

AN - 1983-52640K [25]

A - [001] 013 04- 040 231 240 247 252 259 315 398 431 433 440 45- 477 516  
52& 523 532 533 537 54& 551 56& 560 566 57- 575 596 597 600 602 619  
620 663

CPY - JOHN-N

DC - A11 A82 G02 P28

FS - CPI;GMPI

IC - A47L23/00 ; C09D3/12 ; C09K3/00

KS - 0218 0231 1974 1989 2010 2236 2423 2427 2434 2509 2569 2575 2595 2628  
2654 2661 2713 2723 3198 3200 3202 3252 3309

MC - A03-A A03-A01 A07-A01 A12-B02 A12-C04 G02-A05 G02-A05D

PA - (JOHN-N) JOHNSON KK

PN - JP58067777 A 19830422 DW198322 002pp

PR - JP19810166107 19811017

XA - C1983-051199

XIC - A47L-023/00 ; C09D-003/12 ; C09K-003/00

XP - N1983-094652

AB - J58067777 Agent comprises 5-50 wt.% aq. soln. of (1) starch and (2)  
water soluble cellulosic high polymer.

- Pref. (1) includes ordinary- processed- and oxidised starches. Pref.  
(2) are (carboxy, hydroxy) methylcellulose, hydroxyethylcellulose and  
carboxymethylcellulose; carboxymethylcellulose being esp. pref. The  
soln. is applied pref. by brushing, etc. in dry film thickness of  
0.1-0.5 mm. Pref. (1) and (2) are used in amt. 90:10-10:90 by wt.
- The fabric shoes include sport shoes, canvas shoes, seekers, etc.  
Addn. of ethylene glycol in 1.0-3.0 wt.% imparts flexibility to  
coating film. The agent is coated on the surface of fabric shoes and  
upon air drying, it forms a transparent, smooth and adhesive coating  
film which prevents penetration of soil and can be readily washed off  
together with soil.

AW - CMC CELLULOSE CARBOXYMETHYL CARBOXY HYDROXYETHYL

AKW - CMC CELLULOSE CARBOXYMETHYL CARBOXY HYDROXYETHYL

IW - SOIL RESISTANCE PROTECT AGENT FABRIC SHOE COMPRISE AQUEOUS SOLUTION  
STARCH WATER SOLUBLE CELLULOSIC HIGH POLYMER PREFER METHYLCELLULOSE  
TYPE

IKW - SOIL RESISTANCE PROTECT AGENT FABRIC SHOE COMPRISE AQUEOUS SOLUTION  
STARCH WATER SOLUBLE CELLULOSIC HIGH POLYMER PREFER METHYLCELLULOSE  
TYPE

NC - 001

OPD - 1981-10-17

ORD - 1983-04-22

PAW - (JOHN-N) JOHNSON KK

Tl - Soil resistant protective agent for fabric shoes - comprises aq. soln.  
of starch and water soluble cellulosic high polymer of pref.  
methylcellulose type

⑨ 日本国特許庁 (JP)  
⑩ 公開特許公報 (A)

⑪ 特許出願公開  
昭58-67777

⑫ Int. Cl.<sup>3</sup>  
C 09 K 3/00  
C 09 D 3/12  
3/20  
// A 47 L 23/00

識別記号  
厅内整理番号  
6526-4H  
6516-4J  
6516-4J  
6455-3B

⑬ 公開 昭和58年(1983)4月22日  
発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 布製靴の防汚用保護剤

⑮ 特願 昭56-166107  
⑯ 出願 昭56(1981)10月17日  
⑰ 発明者 柴田実

神奈川県中郡二宮町富士見ヶ丘  
3丁目10番23号  
⑮ 出願人 ジヨンソン株式会社  
神奈川県中郡大磯町国府本郷字  
北川699番の1

明細書

1. 発明の名称

布製靴の防汚用保護剤

2. 特許請求の範囲

- 1) 磨粉及び水溶性のセルロース系高分子の水溶液からなる布製靴の防汚用保護剤。
- 2) 水溶性のセルロース系高分子がカルボキシメチルセルロースである特許請求の範囲第1項記載の布製靴の防汚用保護剤。

3. 発明の詳細な説明

本発明は布製靴の防汚用保護剤に関する。詳しくは、布製靴の表面に予め塗布してフィルム被膜を形成しておくと、靴の汚れが布面に浸透することを防止する保護剤に関する。すなわち、靴を洗浄すれば、汚れがこのフィルム被膜とともに容易に除去されるものである。

布製靴の洗剤としては、種々の組成のものが提案されている。しかしながら、靴の汚れは複雑な成分よりなり、とくに油性の汚れ、タールビッテの汚れなどは通常の洗剤だけでは完全には除去さ

れず、布地に強固に残留する場合が多い。

本発明者は、上記のような実情のもとに、汚れた布製靴の強固な汚れを容易に除去することについて種々検討を行なつた結果、靴の表面に予め防汚用保護剤を塗布しておけば、汚れが靴の布面まで浸透せず、通常の洗剤による洗浄だけで、簡単に汚れがとり除かれると云うことを発想した。しかもこの防汚用保護剤としては、1) 布地に容易に塗布できること、2) 塗布後バラバラとならず、布地に適当な密着性を有するフィルムを形成すること、3) 布地を着色しないこと、4) 洗浄除去性がよく、汚れとともに容易に除去されること等の要件が必要となることを想定した。本発明者は更に検討を重ねた結果、磨粉と水溶性のセルロース系高分子との組合せからなる水溶液が、これらの要件を充足することを知見した。

以下、本発明を詳細に説明する。本発明において、布製靴としては運動靴、キャンバスシューズ、スニーカー、上履きなどが挙げられる。磨粉としては、通常の磨粉、化工磨粉、或いは酸化磨粉が

用いられる。化工穀粉とは穀粉にエチレンオキサイド、プロピレンオキサイド、モノクロル酢酸ナトリウムなどを反応させたものであり、また、酸化穀粉とは化工穀粉と酸化剤で処理したものである。水溶性のセルロース系高分子としては、カルボキシメチルセルロース、メチルセルロース、ヒドロキシメチルセルロース、ヒドロキシエチルセルロースなどが挙げられ、とくにカルボキシメチルセルロースが好ましく用いられる。

穀粉と水溶性のセルロース系高分子とは相溶性が良く、これらの水溶液は無色、低粘度であり、既の表面に塗布し自然乾燥すれば、透明で平滑な密着性のフィルムを形成する。塗布方法としてはとくに限定されず、筆、刷毛、指などにより適宜行われる。また、塗布の厚さはとくに限定されないが、通常、乾燥後 0.1 ~ 0.5 mm 程度がよい。本防汚用保護剤の配合割合としては、通常、穀粉：水溶性のセルロース系高分子の割合（質量比）が、90 : 10 ~ 10 : 90 であり、好ましくは 60 : 40 ~ 40 : 60 である。また、穀粉及び水溶性のセルロ

ース系高分子の水溶液の濃度としては、5 ~ 50 質量% 好ましくは 10 ~ 40 質量% が選ばれる。更に、本保護剤中にエチレングリコールを 1.0 ~ 3.0 質量% 程度配合することにより、フィルムに柔軟性を与えることができる。

本保護剤を塗布した既は、種々の汚れが強固に付着したとしても、通常の洗剤を用いる洗浄、或いは単に水だけによる洗浄により、容易に除去することができる。しかも本保護剤は、前述のような防汚用保護剤としての諸要件を十分満足できるものである。

次に実施例により、本発明を更に具体的に説明するが、本発明はその要旨を超えない限り、以下の実施例に限定されるものではない。なお、実施例において % は全て質量% を示す。

#### 実施例 1

第 1 表に示す配合割合の防汚用保護剤を、布製の運動靴に刷毛で塗布し、室温で乾燥して約 0.1 ~ 0.2 mm 厚さの被膜フィルムを形成した。このフィルム面上に、ペントナイト 2% を水で泥状液とし、こ

れにカーボンブラックを 0.1% 混練したもの（泥はね用人工汚染液とみなす）及びタールビッヂを付着させた。1 昼夜放置後、汚れた運動靴を洗浄したところ、泥はね用人工汚染の場合は、水洗だけで汚れがとれた。また、タールビッヂの場合は、市販洗剤による洗浄により汚れをとることができた。

第 1 表

防汚用保護剤	30% スタコデックス (松谷化学製 の穀粉)	20% ファインガム FEL-1 (第一 工業製薬製 カルボキシルメチ ルセルロース)	エチレン グリコール	デルトツブ (武田薬品 殺菌剤)	水
A	40.0	40.0	2.0	0.1	17.90
B	33.0	50.0	3.0	0.1	13.90